

2016年度

愛媛大学大学院理工学研究科博士後期課程アジア防災学特別コース学生募集要項

#### アドミッションポリシー

アジア防災学特別コースは、アジア圏の自然災害の特性と防災対策に関する高度な知識と先端的な研究能力を持つ研究者・技術者の育成を教育研究の目標にしています。そのため、次のような資質・素養を持った人を求めています。

1. アジア圏の自然災害学に関する専門基礎知識を有している人
2. アジア圏の防災に関して強い意欲を持つ人
3. 技術者・研究者としての教養を高め、人類の幸福や社会に貢献しようとする意欲のある人
4. 科学技術的な表現力やコミュニケーション能力を高める意欲のある人

1. 募集人員            2人

#### 2. 選抜方法

##### (1)出願期間, 入学者選抜試験日及び出願書類等提出先

出願期間	2016年(平成28年)4月11日(月)～4月22日(金), EMS便にて必着のこと
入学者選抜試験日	2016年(平成28年)5月5日(木)～5月18日(水)の間に実施
試験会場	愛媛大学, その他の場合は, 会場・方法について連絡します。
合格者発表	2016年(平成28年)5月31日(火)
入学手続締切	2016年(平成28年)6月17日(金) 期日厳守
出願書類等提出先	愛媛大学教育学生支援部教育支援課工学部チーム 〒790-8577 松山市文京町3番

##### (2)出願資格

日本国以外の東南・南アジア及びアフリカ圏の国の国籍を有し、愛媛大学の協定校を卒業している者で、次のいずれかの条件を満たしているものとします。

- ① 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者、または2016年(平成28年)9月までに修士の学位を授与される見込みの者
- ② 愛媛大学大学院理工学研究科博士前期課程アジア防災学特別コースを2016年(平成28年)9月までに修了、または修了見込みの者
- ③ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学院修士課程を修了した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの

##### (3)選抜方法

書類審査と面接を行い、合否判定基準に基づき判定します。

##### (4)出願書類等

- A 入学志願票(写真票, 受験票)(本研究科所定の用紙)
- B 大学成績証明書[出身大学(学部)長等が作成し, 厳封したもの]
- C 大学卒業証明書
- D 大学院修士課程成績証明書[出身大学(研究科・学部)長等が作成し, 厳封したもの]
- E 大学院修士課程修了証明書または修了見込み証明書
- F 推薦書[出身大学(学部・研究科)長等が作成し, 厳封したもの]
- G 誓約書(2016年(平成28年)9月23日(金)までに来日の確約書)(本研究科所定の用紙)
- H 研究計画書
- I 作成している場合, 学術論文業績リスト及び主要論文2編(研究計画と関連するもの)のコピー
- J パスポートのコピー(パスポートが出願時に間に合わない場合は, 面接試験日まで提出すること)

(5)配点, 採点・評価基準, 合否判定基準

①配点

書類審査(成績証明書, 推薦書, 研究計画書など): A, B, C 評価

面接(口頭試問含む.): 100 点

②採点・評価基準

書類審査(成績証明書, 推薦書, 論文業績, 研究計画書)・・・専門的学力, 研究能力などをみます。

面接(口頭試問含む。)・・・研究能力, 目的意識, 勉学意欲, 自己表現力をみます。

③合否判定基準

書類審査及び面接の結果を総合して合否を判定します。

ただし, 次のいずれかに該当する場合は不合格とします。

書類審査: 評価が B, C の場合

面接(口頭試問を含む.): 得点が 60 点未満の場合

3. 入学手続等

(1)入学手続に必要なもの

①入学料・・・・・・・・282,000 円(入学料の額は, 2015 年(平成 27 年)度納付額であり, 2016 年(平成 28 年)度は改定になる場合があります。)

② 本研究科所定の入学手続書類

③ その他の経費として 3,000~5,000 円の経費が必要です。

(備考: 別に定める規程により入学者のうち特別留学生として入学を認められた者(2 名まで)については, 入学料と授業料を免除します。また, 渡航費として最短距離の運賃を支給します。)

(2)入学の時期

入学式を 2016 年(平成 28 年)9 月 26 日に行う予定です。詳細は合格者に別途お知らせします。

(3)授業料について

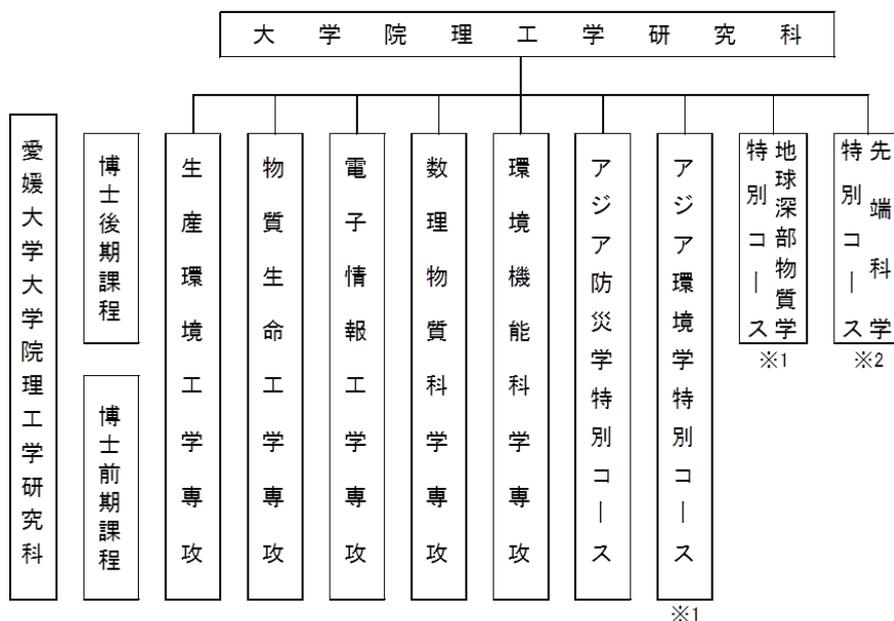
年額 535,800 円(前期分, 後期分 各 267,900 円)(授業料の額は, 2015 年(平成 27 年)度納付額であり, 2016 年(平成 28 年)度は改定になる場合があります。)

※在学中に授業料改定が行われた場合には新授業料を適用します

#### 4. 理工学研究科の概要

##### (1) 研究科の組織

理工学研究科は、下図のように構成されています。理工学研究科の博士課程には、博士前期課程と博士後期課程が設置されています。



※1 アジア環境学特別コース（博士前期課程）、地球深部物質学特別コースは現在募集を停止している。また、当該コースに在学する学生が当該コースに在学しなくなった日をもって本コースを廃止する。

※2 平成25年4月1日より設置。

##### (2) アジア防災学特別コースの概要及び担当教員

21世紀は自然災害の世紀とも言われています。世界の中でも、アジアは自然災害の多発地であり、毎年のように多くの犠牲者が出ています。そのため自然災害の発生機構を解明し、減災のための各種対応をはかることは急務の課題です。そこで、本コースでは、地震災害や気象災害などの発生機構、減災のための対策、防災マネジメント、防災情報などについて学びます。

担当教員と専門を以下に示します。

- 氏家 勲（教授，コンクリート工学）
- 岡村 未対（教授，地盤防災工学）
- 小林 真也（教授，分散処理システム）
- 森 伸一郎（准教授，地震工学）
- 森脇 亮（教授，水環境工学）
- 安原 英明（准教授，岩盤工学）
- 日向 博文（教授，沿岸海洋工学）